

2021年尾張陸上教室参加における遵守事項

尾張陸上競技協会

本教室は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、(公財)日本陸上競技連盟「陸上競技活動再開のガイダンス」に従い実施する。通常の練習会とは運営方法が異なるため、しっかりと確認し、遵守すること。また、本年度のこれまでの競技会と異なるところもあるため注意すること。

遵守されない場合、今後の競技会開催に影響が出ることもあり得るので、各団体で選手・保護者等関係者に周知すること。

1 感染防止のための全般的な注意事項

①大会1週間前から体調管理チェック表を記入し、競技場入場時に各個人で提示する。

※以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。

- ・体調がよくない(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

※提出する前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。

②運動中以外はマスクを着用し、手洗い・洗顔を徹底する。

③3密(密閉・密集・密接)回避行動を心掛ける。

④ウォーミングアップは個別に行う。

⑤練習終了後および競技用具使用後は手洗い・洗顔・手指の消毒をする。

⑥更衣室の滞在は短時間にし、シャワールームは使用を禁止する。

⑦運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。

⑧ゴミは各自で必ず持ち帰る。

⑨フィールド競技の滑り止め(炭酸マグネシウム)はできるだけ各自で持参する。

⑩参加者同士の会話は極力避け、招集中・移動中・待機中はマスクを着用する。

マスク着用による熱中症に気をつける。

⑪自分の参加時間に合わせて来場し、自分の競技が終わったら速やかに帰宅する(競技場滞在時間をできるだけ短くする)。

⑫競技者以外の応援者・観客の競技場内(スタンドを含む)への立ち入りを禁止する。

⑬ホームストレート前スタンドは競技役員控え場所として使用するので、各団体での使用を禁止する。各団体は芝生スタンドを使用し、密を避ける工夫をする。

⑭参加者は、教室終了後2週間は健康チェックをする(体調管理チェック表【大会後/個人管理用】を活用する)。症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、医師会、診

療所等に報告する（症状には個人差があるため、強い症状と思う場合はすぐに報告する）。また、保健所、医師会、診療所に相談後、必ず主催者に報告する。

⑮主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

2 競技場への入場について

(1) 参加者

- ・入場口はスタンド西側の通用口1か所のみとする。
- ・競技場内への入場可能時間は、受付開始時間以降とするので、その時間に合わせて来場する。
- ・感染拡大予防のために会場への来場人数の分散を図るため、来場時間を厳守する（競技場外の密を避けるため、来場時間より前に競技場前に待機することを禁止する）。
- ・入場の際は「【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」（以下、「体調管理チェックシート」という）の確認および非接触体温計での体温測定を受ける。当日の体温が37.0度以上の場合は会場内に入場できない。ただし、平素の体温も考慮する。
- ・再入場の際は「体調管理チェックシート」を再提示し確認を受ける。
- ・「体調管理チェックシート」の回収は、その日の教室終了時に種目の主任の先生に提出をする。

(2) 競技役員

- ・入場口は競技場1階「本部室」入り口1か所のみとする。
- ・入場の際は「【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」の確認および非接触体温計での体温測定を受ける。当日の体温が37.0度以上の場合は会場内に入場できない。ただし、平素の体温も考慮する。
- ・入場の際、競技役員（役員係）より出席確認を受け、その際に「体調管理チェックシート」は提出する。
- ・審判員章を着用する。ない場合は役員受付時に腕章を受け取る。
- ・再入場の際は、審判員章または腕章を提示して入場する。
- ・「体調管理チェックシート」は該当の日にちのものを使用する。3日間とも競技役員として参加する場合においても、それぞれ準備する。

3 団体受付について

- ・本教室は、毎回の団体受付が必要となる。受付場所は本部前（競技場外）に設置する。
- ・受付の際に、「チーム控え場所位置図」に自チームの控え場所の位置が分かるように〇印をつけて提出する。

4 各団体控え場所について

- ・各団体の控え場所は、芝生スタンドのみ使用可とする。競技場メインスタンドおよび芝生スタンド以外のスペースは使用禁止とする。また、競技場外の場所（いちい信金スポーツセンター敷地内の木陰外など）についても使用禁止とする。
- ・控え場所ではマスクを着用し、密が避けられるように各団体に配慮する。

5 練習中および練習終了後について

(1) トラック競技

- ・手洗いを実施してから集合する。
- ・密を避け、常に周囲との距離を保つ。
- ・練習中以外はマスクを着用する。マスク着用による熱中症に気をつける。
- ・練習後は、直ちに手洗い場に移動し、手洗いおよび洗顔を実施する。
- ・練習終了後は速やかに荷物をまとめ、手洗いのうえ退場し、そのまま帰宅する（練習終了後は競技場内に留まることはできない）。

(2) フィールド競技

- ・競技場所へは手洗いを実施してから集合する。
- ・待機場所では密を避け、常に周囲との距離を保つ。
- ・参加者同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用する。マスク着用による熱中症に気をつける。
- ・練習中は器具を触った手で口や目を触らない。
- ・投てき競技で使用する滑り止め（炭酸マグネシウム）は必ず各自で持参する。
- ・練習終了後は、直ちに手洗い場に移動し、手洗いおよび洗顔を実施する。
- ・練習終了後は速やかに荷物をまとめ、手洗いのうえ退場し、そのまま帰宅する（練習終了後は競技場内に留まることはできない）。
- ・走高跳および棒高跳の選手については、終了後の手洗いに加え、帰宅直後の入浴を勧める。

9 その他

- ・競技場入場後のトイレは、スタンド下トイレのみ使用可とする。
- ・発熱者が発生したときは、迎えが来るまで競技者控室にて待機させる。
- ・競技役員は、控え場所としてメインスタンドを使用する。
- ・ゴミは必ず各自で持ち帰り、自宅で処分する。
- ・厚生労働省が提供する、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の使用を推奨する（ただし、通信端末は競技エリアに持ち込むことはできない）。
- ・その他、競技役員の指示があった場合はその指示に従う。